

三鷹駅南口中央通り東地区再開発ニュース

第19号

(平成23年3月発行)

発行：三鷹駅南口中央通り東地区再開発協議会
UR都市機構東日本支社
三鷹都市再生事務所
連絡先：0422-70-0556(UR)



トピックス

協議会第22回勉強会の報告

㈱まちづくり三鷹主催「まちづくりセミナー」の報告
地質調査等の報告



協議会第22回勉強会の報告

平成23年2月25日(金)、UR三鷹都市再生事務所にて第22回勉強会が開催されました。

権利者(9名)の他、オブザーバーとして三鷹市、㈱まちづくり三鷹、UR等が出席しました。

これまで関係機関への相談が重ねられており、URから、交通管理者協議の結果を受けて修正した施設計画案の提示がありました。

また、URからの提案である(ビル駐車場全体を一体運用することで効率的に公共駐車場を確保すること)について三鷹市が検討した結果、資産保有や管理運営の観点から困難である旨の結論に達して、公共駐車場を確保する方向性には変わらないものの、住宅用駐車場とは切り離して公共駐車場のあり方を引き続きURと検討していきたいとの報告がありました。

施設計画案の主な変更点

- ・さくら通りを拡幅し、中央通り・本町通りへの右折レーン2ヶ所を設置する。地区側歩道は歩道状空地で代替し、事業区域内の北側の歩道を2mに拡幅する。
- ・さくら通りに待機車両がはみ出ないように、駐車場入口の位置を移動した。
- ・本町通りに、直進レーンと右折レーンを設置する。地区側歩道は歩道状空地で代替する。
- ・さくら通りの拡幅に伴い、タワー位置を若干中央通り側に変更した。これにより、中央通り側の店舗が浅くなって個割しやすくなった。また、1階東側の店舗が広くなり、運用によっては通り抜けができるようになった。東側店舗の一部を締め切って通路として使用することも考えられるようになった。
- ・駐車場入口の位置変更により、商業コンサルタントから指摘を受けていた本町通り側のエスカレーターを設置できた。北側、東側、南側のそれぞれの角にエスカレーターを設置できたことで、2階店舗のアクセス性が改善された。

権利者からの意見

- ・南から北へ抜ける通路は欲しい。
- ・セットバックするのはよいが、その部分の使い方が重要になってくる。
- ・しろがね通りに荷捌き車両がたくさん止まっていることや放置自転車が多いことへの対策も考えていく必要がある。
- ・三鷹の商業はとても難しい。ターゲット、コンセプトを間違えないようにする必要がある。等



まちづくり三鷹主催「まちづくりセミナー」の報告

平成 23 年 3 月 8 日(火) 三鷹産業プラザ 7 階にて(株)まちづくり三鷹の主催で「まちづくりセミナー」が開催されました。

セミナーでは、三鷹市内の 4 つの協議会員を対象として、(株)ダイシン百貨店 代表取締役社長と工学院大学 工学部建築都市デザイン学科教授のお二人から『半径 500m 圏シェア 100% の超・地域密着戦略』と題した講演がありました。

社長は、大森駅から遠く離れたダイシン百貨店を地域密着戦略により見事再建した経緯をお持ちで、最近では多くのメディアにも取り上げられています。

講演は、成功例だけではなく過去の失敗例も交えるなど、今後の再開発に向けて参考となる内容も多く、大変有意義な経験となりました。

また、講演後には交流会も催され、地域の協議会の方々とこれからの三鷹について意見交換することもできました。



地質調査等の報告

平成 23 年 2 月 13 日(金) ~ 3 月 12 日(木)に、地区内 3 地点で地質調査が行われました。

今回の調査によって地下の地質構造を明らかにし、建物構造の決定に生かしていくことができます。今後は、調査で掘った穴を利用して地下水位の観測も行われる予定です。

近隣の皆様には調査期間中に騒音や振動で多大なるご迷惑をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。

